WAKATSUBAKI

わかつばき

2008
11

打てば響け！

『共感と実践』の輪をこのまちに

JCI

社団法人
松山青年会議所

青年会議所とは

青年会議所（JC）は、“明るい豊かな社会”の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。

青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志により、その居住する各都市の青年会議所に入会できます。

50年の歴史をもつ日本の青年会議所運動は、めざましい発展を続けておりますが、現在700余の地域に4万余名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。

全世界に及ぶこの青年運動の中枢は、国際青年会議所ですが、114カ所の国及び地域に101NOM（国家青年会議所）があり、約22万人が国際的な連携をもって活動しています。

日本青年会議所の事業目標は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的指導能力の開発を押し進めています。

さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創りだすため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。

Contents 目次

◆理事長便り ―― 1
◆10月例会報告 ―― 2
◆ニューデリー世界会議 ―― 4
◆新入会員より ―― 6
◆次年度新入会員募集 ―― 11
◆12月例会ＰＲ ―― 12
◆じゃがいもクラブ ―― 13
◆卒業予定者特集 ―― 14

ご購読のお申し込みは（社）松山青年会議所まで
TEL（089）941-0194　無料

元気が1番！
地域に愛され、社会に貢献
アマノ印刷
〒790-0932 松山市東石井一丁目10-30
TEL089-956-2442 FAX089-956-2180
E-mail:amanop@poppy.ocn.ne.jp

協賛企業

（株）香川ネオン	平岡昌次郎	先輩
（株）寺田商店	寺田　太郎	先輩
富士タクシー	加藤　忠彦	先輩
ホテルアビス松山	村上　博英	先輩
愛麺（株）	平田　裕二	君
アマノ印刷（有）	天野　眞作	君
上田消防建設（株）	正岡　尚起	君
愛媛合同物流（株）	近藤　弘志	君
愛媛パッケージ（株）	井川　直樹	君
（有）キーホール	宮谷　圭一	君
嵯峨野屋	北村　　斉	君
桜うづまき酒造（株）	篠原　成昌	君
昇栄建設（株）	郷田　明史	君
（有）てらだ	寺田　　明	君
（有）東昇技建工業	小泉　啓典	君
道後山の手ホテル	帽子　大輔	君
（株）ハート交通	寺川　洋史	君
媛彦温泉	大野　剛嗣	君
ホテル奥道後	坪内　洋輔	君
（株）松山建装社	盛重　泰輔	君
マルマストリグ（株）	河野　行信	君

〔50音順〕

理事長便り

(社)松山青年会議所
第56代理事長
郷田　明史

霜月を迎え、多くのご家庭で「炬燵」を出されていることと思います。夕食時の何気ない会話も、こころなしか弾むような感じがします。寒い冬だからこそ、家族の愛情や、人が多く集うときの温かさや愉しみを殊更感じるといった方も、多くいらっしゃるのではないでしょうか。

今月上旬には、インドニューデリーで行われた世界会議(JCI World Congress 2008)に出席して参りました。

航空便の接続が悪く、乗り換えの空港（バンコク／タイ）で待ち合わせに５時間、帰りの便もニューデリーからバンコク、さらにマニラを経由して関西国際空港までたどり着くという大変さはありましたが、全世界で活躍するＪＡＹＣＥＥが集まるこの会議だからこそ、世界的に展開しているＪＣＩの運動と地方青年会議所が行っている運動の接点に触れることができるのだと思います。

私たち地域のＪＣは、自分の身の周りにある問題、現状で自分が出来ることを率先して行える地域リーダーの集団であるべき存在です。『世界を語る』というと、とても壮大でマクロティックな感じがしますし、それと比べて『地域』のみを語ると前者と比べてすごく小さな話のように感じるかもしれません。これらの一見相反するミクロとマクロの世界観は、実はかけ離れたところにあるものではなく、すぐ隣にあるものだと実感ができる会議でありました。

『竜退治の騎士になる方法』という若年層向けの本の中で、竜騎士になるにはみんなが脱ぎ散らかしたトイレのスリッパをそろえることから始めなさいと書かれてあります。もし本気でトイレのスリッパをそろえることができれば、騎士になるための次の課題が見えてくるといった内容です。

世界を変えようと志すには、まず自分を律することが大切です。まず足元を見渡し、落ちているごみに気付き人知れず拾うことができなければ、世界を良くしようと志しても、変えることなどできはしません。

大きなことに取り掛かっていればいるほど、足元の大切なものを見落としてしまいがちになります。自信がなくなったりつまずいたりしたら、一旦スタートに戻る勇気も必要なのではないでしょうか。

『全ては己から始まる』

理事長としての任期はあと１カ月少々となったところではありますが、この思いを生涯の自戒として心に留め、自分を映しだす鏡を磨き、残された任期を全うしてまいります。

2008年度 10月例会

「思いやりの和を感じよう」

次世代共育委員会

平成20年10月21日(火) 18:30～
松山市総合コミュニティセンター

無能者にとって、「精神主義」と「規律主義」は絶好の隠れ蓑であるという言葉がありますが、指導者たるべき人間はまず「己を磨く」ことから始めなければ、誰も導くことはできません。

そこで10月例会は、人にとってもっとも必要な徳目「思いやり」について考えて頂き、さらなる徳高き人間になって頂くべく、「思いやりの和を感じよう」という題目にて例会行事を実施しました。

内容は、日本青年会議所で作成された「ＯＭＯＩＹＡＲＩ」セミナーのプログラムを参考に当委員会独自に改訂したもので実施いたしました。例えば「思いやりで解決できることは何でしょうか？」という問いかけをメンバーの皆様に行い、さまざまなご意見を頂きましたが、世の中に起きている戦争や犯罪は「思いやり」の心があればだいたい解決できます。その事をメンバーの皆様に気づいて頂けたのではないかと思います。

アワード優秀賞受賞の報告

また当委員会独自のプログラムとして、「みんなで跳んだ」という映像を見て頂きました。この話は神奈川県小田原市の中学校で実際にあった話です。内容は運動会でクラス対抗の長縄跳びが行われます。運動会の前日のその学校のあるクラスで話し合いが行われました。そのクラスには障害を持った生徒が居たのですが、

彼を入れて縄跳びをすれば負けは確実です。でも彼を外して勝つことに意味があるのか、思いやりがあるのか、そのクラス全員が悩みます。そしてある決断を下し、運動会に臨むというドキュメントです。この映像を見て、勝ち負けよりも人間にとってもっと大事なことがある、その事に気づいて頂きたいと思いました。

出席優秀委員会　次世代共育委員会

次世代共育委員会　前崎副委員長

例会行事全般についてですが、ファシリテーターの前崎副委員長はガチガチで、いつもの軽妙な語り口には程遠い内容でしたが、スムーズに運営することが出来ました。これもメンバーの皆様の積極的かつ真剣な思いでご参加頂いたおかげと感謝致します。

思いやりが必要なゲーム

最後の私の挨拶で、ある悲しい事件の

思いやりエピソード

映像をご覧頂きました。メンバーの中には涙を流される方もいらっしゃったと聞いておりますが、我々青年会議所が目指す「明るい豊かな社会」とは突き詰めて具体的に考えたとき、「弱者」に対して思いやりのある器の大きい、暖かい社会を築くことではないでしょうか。お互い助け合い、思いやる気持ちを持つことが、今の世に求められているのではないかと思います。

最後にオープニングでお見せした著名な方の言葉を今一度、いくつかご紹介したいと思います。

世界のどこかで、誰かが蒙(こうむ)っている不正を、心の底から深く悲しむことのできる、思いやりのある人間になりなさい。それこそが革命家としての、一番美しい資質なのだから。

―チェ･ゲバラ（キューバ革命指導者）「娘に宛てた手紙」より

経営者にとって大事なことは、何といっても人柄やな。結局これに尽きるといっても、かまわんほどや。まず、暖かい心というか、思いやりの心を持っておるかどうかということやね。

―松下幸之助（松下電器産業創業者）

温情判決（介護のはなし）

広報委員会　松本　幸三

インド到着初日(11月７日)、すでに前日(６日)にインド入りしていた郷田理事長とＨＱであるアショカホテルで合流。そのままジャパンナイトに参加した。

７日の会議で2010年の世界会議が大阪に決定したこともあり、地元インドのメンバーは元より各国のメンバーがこぞってジャパンナイトに集結し、入り口は大混乱。ブースでは大阪ＪＣは「チキンラーメン」、東京ＪＣは「カレーライス」、姉妹ＬＯＭである八戸ＪＣは「書道」とそれぞれ特徴的なブースで大盛況であった(会場内は入場制限するほど超鮨詰め状態)。

ジャパンナイトで合流できなかった次年度日本ＪＣの要職に就く井川君、坪内君とも９日に合流。無事松山からの参加者すべてと会うことができた。ちなみに３人の写真撮影は2007年度日本ＪＣの細川常任。個人的に2002年、2004年と日本出向でお世話になった方である。

広報委員会松本幸三君と郷田理事長

さて、せっかくインドに来たということでオプションの「アグラ（タージマハル）ツアー」に参加した。

首都デリー（今回のＨＱ）からおよそ200ｋｍ南にあるアグラはムガール帝国の首都であり、世界遺産であるタージマハルがある。

たまにコブラ使い

バスをチャーターして行ったが、バス、道路とも日本では想像できないほど悪く、バスの扉は常に半開状態（これで高速を走行する）、サスペンションが悪いのか道の舗装が悪いのか常にマッサージチェアのような微振動が続くこと行き６時間、帰り５時間半の計11.5時間。

世界遺産タージ・マハル（本物です）

移動に想定外の時間を費やしたためにタージマハル見学はわずか45分間であったが、その強烈な様には驚きを隠せなかったと同時に味わったことの無い感動を得ることができた。

建設費用は天文学的数字だそうである。なんせ全て「大理石」だから・・・。

道路には動物があふれる

デリー～アグラ間の移動途中の町並みは今までに見たことも無い凄まじい光景であった。

野良犬は勿論、野良牛、野良山羊、野良猿・・・車の通る部分はアスファルトだが、それ以外は土で常に砂埃が舞っている。道路には人、自転車、リクシャー（小型タクシー）、バイク、車、牛、らくだ、馬車、像、（たまにコブラ使い）、ＥＴＣ・・・が溢れ、しかもそれぞれの運転は超人的なテクニックなので事故は起こらない（あまりに接近するため車はドアミラーを常に閉じているか、取り除いているのも関わらず！）。

また1000万人以上の都市が４つもあるのに百貨店はおろかスーパーマーケットすらない、すべて露店か単独店のみ。

あまりに衝撃的過ぎて詳細までは書けませんが、写真から想像してください。

インドを一言で言えば「人間本来の生き様を見せ付けられた」といったところでしょうか。

テロとか懸念される中で無事に会議が終了したことに感謝をしながら、今回のレポートとさせていただきます。

勿論、来年のチェニス（チュニジア）も参加するつもりです。

井川君、坪内君と合流

新入会員特集

松山青年会議所に入会して

これからも、よろしくお願いいたします。

伊藤（いとう）　義宏（よしひろ）
株式会社マルイ
松山支店　専務取締役
●1975年5月25日生

初めて２月に入会して、早11ヶ月になりました。
はじめは、青年会会議所は、どのような活動をするか、全然判りませんでしたが、
少しずつ理解出来るようになりました。
カリキュラムでは３分間スピーチや、ロバート議事法など、青年会議所に入会していなければ、絶対に経験しない様な事であり人前で話をすることが無かった私には、とてもいい勉強になっています。
委員会では、春祭りでの車椅子の方と一緒に、同行したり、福祉の行事に参加しましたが、これも初めてのことで、障害者の方と接しいろいろ勉強になりました。
苦労したことは、仕事との両立で、仕事と青年会議諸活動両方を疎かにせず有効に時間を作ることが、今でも苦労しています。それをこれからも少しずつ上手に頑張ってやって行きたいと思っています。
今年の経験を来年の活動に生かしていければいいと思います。

岡本（おかもと）　公一（こういち）
株式会社ムラタ
営業主任
●1977年9月9日生

松山青年会議所に入会してからこれまでの事を思い返してみますと、不安と緊張の連続だったように思います。当初は、青年会議所とはどういうものかわからない状態からのスタートでした。
その後、総務委員会の一員として例会・委員会・行事に参加していくことで、先輩方の物事に取り組む姿勢や考え方、その行動力を目の当たりにし、少しずつですがその理念や活動を勉強させていただきました。
その中で特に思った事は、時間の使い方の大切さです。限られた時間の中で自分がどれだけの事を出来ていたのか、今までの自分がいかに時間の使い方を軽んじていたのか、反省するばかりです。今後は、効率よく自分の時間を使いこなせるよう、良く考えて行動する事を学ばねばと考えています。
まだほんの入口程度でしょうが、青年会議所で学ぶ事を自分の仕事や生活に生かせるようこれからも努力していきます。

戒能（かいのう）　史武（ふみたけ）
株式会社戒能会計事務所
●1974年12月7日生

２月に入会させて頂き、気付けば10ヶ月が経ってしまいました。周りに勧められるがまま入会し、最初は訳も分からず、ただ飲み会だけを楽しみに足を運んでいたような気がします。何回か参加している内での様々な方との出会いは、私にとって十分過ぎる程魅力的でありました。仕事を離れ様々な方と繰り広げられる会話は今まで経験したことない程私の刺激となり、会の終わった後もその余韻に抱かれながら幾度も朝方まで飲んで家に帰るのを忘れていたものです。ただ、お陰様で真っ直ぐ家に帰る事を教えて頂き、現在では大分家庭も落ち着いております。
振り返ればこの10ヶ月、大変楽しく過ごさせて頂きました。多くの先輩方、同期達、会社の理解、そして家庭の小理解、全ての要因に支えられ現在の私が存在できていると実感しております。今後とも感謝の心を忘れずに私の信ずる道を邁進していきたいと考えております。

河井　直幸（かわい　なおゆき）

ホテルJALシティ松山
●1980年3月5日生

２月に入会してから早いもので10ヶ月が経過しようとしております。最初は右も左も分からない中で様々な行事に参加させて頂き、その度に得るものが大変多く現在では充実したＪＣ活動を過ごす事が出来ています。委員会では観光開発委員会に所属をさせて頂き「春まつり」の運営に携わる事が出来ました。私は入会したばかりで内容も分からないまま４月の春まつりに向けて先輩方と準備を行い当日の運営に至るまで委員会以外のメンバーや地域の方々と力を合わせ、ひとつの行事を成功させる喜びを感じる事が出来、ＪＣに入会していなければ味わえない経験をさせて頂きました。また新入会員カリキュラムや例会では普段、触れることのない内容や問題を学ぶ事が出来ました。この10ヶ月間、諸先輩方のご指導の下いろいろな経験をさせて頂き改めてＪＣの魅力を実感しております。

小西　健一（こにし　けんいち）

株式会社富士造型
課長
●1972年8月24日生

私が今年２月に松山青年会議所に入会してからいろいろな経験をさせていただきました。

そのなかで一番印象に残っているのは新入会員カリキュラムも兼ねた土佐清水での四国地区会員大会への出席でした。貸切バスの中で自己紹介を兼ねた３分間スピーチに始まりボディランゲージをはじめとするカリキュラムを行いました。なんとなく学生時代の部活の遠征を思い出して楽しく有意義な時間をすごせました。しかし会員大会を終え懇親会の終盤で会員大会運営の労をねぎらわれステージ上で涙を流していた土佐清水のメンバーを見てＪＣに対する熱い思いを感じることができ、それと同時に「ＪＣ活動は楽しいだけではいけない。責任感をもって活動しなければいけない。」ということを学びました。今後はこの経験を生かして「楽しく・真剣に」ＪＣ活動を行っていきたいと思います。

佐伯　正芳（さえき　まさよし）

Meister
●1978年12月3日生

松山青年会議所に入会し、はや９ヶ月になりました。たくさんの会議に出席させて頂き、ロバート議事法による会議運営のすばらしさに気づき進行の早さには勉強させられました。また、今までは自分のことだけで精一杯だったのが、地域のいろんな行事に参加し活動する中で、他人の意見に耳を傾けることができ、その意見の中からすばらしい考えを勉強することができ、自分の私生活や仕事の中で大変役に立っています。さらに自分が携わった行事が無事成功した時の喜びも感無量です。行事に参加することで地域への愛情も溢れ、さらに明るい豊かなまちづくりの為に努力しようと思えます。ＪＣという場で出会った多くの人々に感謝し、新しい輪を広げ、自分自身の向上、地域の向上を目指し、先輩方の意見を勉強しながら、これからもがんばりたいと思います。まだまだ未熟者ですが、よろしく御願い致します。

田中　利幸（たなか　としゆき）

松山興産株式会社
専務取締役
●1971年4月27日生

正直、入会するまでの青年会議所のイメージは、周りのひとのうわさなどで、あまりいいものではなかったです。入会することは、まあ、絶対とは言いませんが、「ない」と考えていました。いろいろなメンバーの方に、熱心に入会を勧められたので、「とりあえず」入会したのが本音です。

しかし、入会して二つ青年会議所ってすごいな、と感じたことがあります。一つは、全力少年共感委員会のメンバーが大変良かったのです。私はみなさんが、担当行事でとても熱心に活動している姿を見たこと、また楽しく活動していることです。もう一つは、出張先で、会社の名刺が１枚もなくなり、あるのはＪＣの写真付きの名刺だけでした。申し訳なく渡すと、その方もJC出身、また周りの方にも多く、話がはずみ年齢は離れているものの、今でも連絡を取っています。ＪＣの名刺に感謝しています。

今は、そんなこんなで、JC活動を楽しくやっています。

長岡（ながおか）　良浩（よしひろ）

有限会社ユングフラウ
●1982年12月9日生

２月に入会し、約９ヶ月ＪＣ活動をしてきて、さまざまな経験を積ませてもらいました。多くの人との出会い、さまざまな行事への参加を通じ、少し視野が広がった気がします。

ブロックスポーツ大会で初めてドラゴンボートに乗り、愛媛にはこういう遊びもあるのだと知りました。それと同時に松山には何があるのだろうと考えたときに、自分がいかに地元を知らないのか気づかされました。

私はずっと松山で生活してきました。しかし、いや、だからこそかも知れませんが、松山の良いところをあまりにも知りません。松山には良いところがたくさんあるはずです、私はＪＣ活動を通じ、松山をもっと愛媛に、四国に、全国に、世界に発信していきたいと思います。

ＪＣ活動にはさまざまな負担がかかります。そのため、少しでも自己の利益を求めることは当然だと思います。しかし、私は今のＪＣは自分本位になっている気がします。今一度、地域のためになる活動を考えてもらえたらと思います。

松平（まつだいら）　智也（ともや）

サークルケイ四国株式会社
統括マネージャー
●1974年7月5日生

早いもので松山青年会議所に入会して10ヶ月が経過しようとしています。今だに右も左も分からずに右往左往している有様ですが、ＪＣの様々な事業に参加させていただく中で、少しずつではありますが、青年会議所メンバーらしくなってきているのでしょうか？それは、まだまだ自分でもわかりませんが、いつかわかる日がくるよう日々精進していこうと思っています。

さて私が所属させていただいている結城委員長率いる全力少年共感委員会では、わんぱく相撲や松山市民シンポジウムなどを通じて、

当委員会のクオリティの高さに驚嘆させられるばかりでした。来年度は、今年度経験したことを生かし、更に磨きをかけ松山ＪＣマンとして誇りをもてるような活動をしていくことを心掛けて自分自身を磨くとともに、町の発展のための役に立てればと思います。

三宅（みやけ）　孝房（たかふさ）

有限会社セイフティーテクノス
代表取締役
●1973年3月24日生

２月に青年会議所に入会し、11月にもなりそろそろ１年がたとうとしています。

この１年間広報委員会で活動してきましたが、未だに、何をやっていいのかが、はっきりわかっていません。

ただ、広報委員会のメンバーは紹介者の近藤さんとの付き合いのなかで、入会前から交流のあるメンバーばかりだったので、最初から打ち解けて話すことが出来て、出席しやすかったと思います。

今後、他の委員会メンバーや理事メンバー、同期の仲間ともっと交流を深め一生付き合いのできる仲間をつくっていきたいと思います。これからも宜しくお願いいたします。

大堀（おおほり）　豪（たけし）

株式会社　マツダ
北土居店　店長
●1973年4月16日生

入会から約半年ほど経過しましたが、今ひとつＪＣメンバーとして貢献できていないと反省しております。ＪＣメンバーひとりひとりが志高く、情熱をもって主体的に始めなければ何も始まらないことが分かりました。決して強制ではなく、自らの意思で皆が一体となって行動しなければいけないことに気づきました。日頃抱えている仕事があり、ＪＣ最優先での生活スタイルは保てない現実がありますが、出来る範囲でＪＣのメンバーとしてお手伝いが出来ればと考えています。誰かがやってくれるだろう、誰かに任せておけば大丈夫、新入会員の出る幕ではないだろうと他人任せにならないよう、今後はメンバーの一人として、まずは出来ることから始めたいと思います。

ＪＣで出会ったメンバーとの縁を大切にし、友情を築くことができれば自分の人生にも有意義な時間になると思います。今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。

岡田真之介（おかだしんのすけ）

株式会社　アート･アイデア
●1984年8月3日生

松山青年会議所に入会して、早くも半年、入会前は自分自身の能力や人間関係を向上させることができるという期待と、それとは逆に24歳の私が入会して大丈夫なのかという不安もありました。

実際に入会してみると何もわからない私を、坪内総務委員長を始め総務委員会の皆さんがアットホームな形で歓迎していただき、人見知りの私にとってはとても助かりました。その中でわからないことであったり、ＪＣとは関係ないことも教えていただき、私はこの短期間で一回り成長できたのではないかと思っています。

私がこの半年間の中で強く印象が残っている行事は松山青年会議所設立記念パーティーです。現役会員はもちろん、シニアの方も多く参加され、記念すべき行事を全ての方で祝福をするという姿を見て松山ＪＣの強い一体感を感じました。まだまだＪＣ会員としても社会人としても未熟者ですが多くの方に感謝の気持ちを持ち、ＪＣ活動に貢献できたらと考えています。

門屋　光彦（かどや　てるひこ）

株式会社　門屋組
代表取締役　副社長
●1978年9月23日生

2008年の５月に松山青年会議所の門をくぐってはや半年経った。半年経った今の心境は「あ～入ってよかったなぁ」というのが正直率直な解答である。まだ正式に会員とは認められていない準新入会員であるのだが、これからは08年一緒に松山青年会議所の門をくぐった同期のみんなと共に盛り上げていきたいと思っている。そこで今一度、入会した時を振り返り、過去と現在の私自身の心境の変化を検証していきたいと思う。私自身の性格として、何でも「やるからにはやる」という理念があったので、この松山青年会議所の門をくぐったからには「絶対にやる」「やり遂げる」という考えがあった。しかし実際、入会当初忘れもしないのだが、新入会員カリキュラムを受けることとなって、「えっこんなことするん？」と正直２,３歩引いたのを思い返す。特にＪＣＩクリード唱和が私にとってかなり衝撃的であった。そんな心境の中、新入会員カリキュラムが行われた。同期のメンバーと共に参加して学び、喜び、そして笑いありのこのカリキュラムがだんだんと楽しいものに変わってきたのである。この時「本当に仲間っていいね」と本気で思った。さらに引き金となったのが、土佐清水の地で行われた2008年度四国地区会員大会であった。松山青年会議所初となるバスの中でのカリキュラムということもあって、どうなることかと心配していた。しかしハリーこと広澤先輩のご指導の下、円滑に新入会員カリキュラムが出来たことは会員開発委員会様のおかげであったと思う。本当にありがとうございました。この四国地区会員大会の新入会員カリキュラム後に同期会を結成することとなった。その名は08会という。西平会長を盛り上げながら、この同期の仲間と末永くお付き合いしていこうと思う。たったこの半年間という短い期間の中でこれだけのドラマが起こっているのは大変喜ばしいことだと私は思う。この出会いを大切にこれからのＪＣ活動を行っていきたい。

最後に、私は「ＪＣ宣言」にもある「志を同じうする者、相集い、力を合わせ」のフレーズが一番気に入っている。このフレーズを念頭に置き、松山青年会議所を盛り上げていきたい。まだまだ右も左もわからないことだらけですが、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

河村　隆広（かわむら　たかひろ）

株式会社　シンマツ
専務取締役
●1974年3月8日生

今年は、私にとって２つの大イベントがありました。１つは、新しい事業を立ち上げた事、もう１つは、ＪＣに入会したことです。

入会する前に受けた面接は、16年ぶりのためかすごく緊張しました。

私が、ＪＣに入会したのは、ＪＣがどのような活動をしているのか興味があり、その活動を通じて沢山の人と交流し、友達を増やしたいという思いと、色々と知識を得ることが出来るのではないかと思い入会しました。

私は５月に入会し、まだ半年ほどしかＪＣの活動に参加しておりませんが、少しづつ親睦を深めさせていただいております。

今年入会したメンバーにて、同期会(08会)を結成し、８月・10月にゴルフコンペと親睦会を行い、楽しく時間を過ごすことも出来ました。

これからもＪＣの活動を通じて、沢山の人との交流の場をいただき、一致団結し地域活性化を目指し、頑張って行きたいと思っております。

西平　孝志（にしひら　たかし）

ニシヒラ住宅
代表者
●1970年4月30日生

私は文章を書くのが苦手なのですが新入会員ということで感想を書かせていただきます。

青年会議所に入会した目的は多くの友だちを作ろうと思ったからです。新入会員カリキュラムでは多くの異業種の人と友だちになれて目的も達成できてよかったです。

委員会についてはまちづくり委員会に所属し活動させていただきました。まつやま市民シンポジウムなどではボランティア活動など生まれて初めての貴重な体験をすることができました。骨髄バンクドナーの登録もさせていただきました。

今後の目標は青年会議所の活動を通して一人でも多くの友人を作ることです。自己啓発もしていきたいです。今後もご指導よろしくお願いします。

濱本太一郎（はまもと たいちろう）

株式会社　濱本板金
代表取締役
●1978年10月7日生

今年の５月に入会し、(社)松山青年会議所準会員という立場でいろいろな行事に参加させていただいて、現時点での入会してからの感想は？と聞かれると、はっきりいってまだまだ(社)松山青年会議所のことがまだまだわかりません。
そもそも入会きっかけとしまして、一番目にいろいろな人達と知り合いたいと思った事、二番目には、やはり仕事に活かしたいという思いからでした。まだまだ半年ぐらいでは、なにもわからずにただ参加しているだけのような状態で、二つとも叶っていませんが、いろいろな企業のいろいろな役職の方々が、ＪＣ活動を通して一つの目標に向かって日々活動を続けているという、非日常的な雰囲気は、とても楽しく思っています。
特に、同期の08会の方々とはいつもたのしく活動をさせていただき、とても感謝しています。
また、黒光委員長と石丸副委員長をはじめ、会員開発委員会の皆様方には入会当初よりとても親切にしていただいて、とても親しみ易かったことが特に印象に残っています。
半年ほど過ぎた感想としては、だいたい以上のような感想ですが、今後は、もっとＪＣ活動に携わっていけるように時間をとりながら、今まで以上に沢山の人たちと、いろいろな活動を通して知り合い、公私ともに充実したお付き合いをしていただけるように日々精進するよう心掛けて参りますので、諸先輩方のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。これからも末永く宜しくお願いします。

平岡　正己（ひらおか　まさき）

株式会社　アルファー産業
●1980年12月9日生

右も左も分からない状態で入会して、早半年が経ちました。
新入会員カリキュラムで土佐清水市に行ったり、貴重な経験や大変ためになる話を聞かせていただいたりました。
しかし、まだまだ時間の使い方がうまくいかず、例会・委員会ともに欠席してしまった回がありました。ＪＣに入った理由のひとつにも、時間の使い方を上手になりたいということもあったので、半年経ちＪＣの流れもずいぶん分かってきたので、次年度はもっと時間を有効に利用したいと思います。
また、２月入会・５月入会の新入会員が集まって、同期会が結成されました。もう２回ほど同期会を開き、まじめに時には馬鹿をしながら同期同士のつながりを深くし、強く結束していっています。
半年前、右も左もみえなくて、ＪＣの楽しみ方がわからなかったのですが、半年経ち、委員会・同期会を通じて知り合いもでき、ＪＣの楽しみ方やＪＣ活動の意味などが徐々にですがわかってきたように思います。
次年度は、今年度の経験を生かしてもっともっとＪＣ活動に参加に、松山ＪＣを盛り上げていけたらいいなと思っています。

平島　健吾（ひらじま　けんご）

野村證券　株式会社
●1984年3月6日生

私は友人の紹介でＪＣに入会しました。正直、最初は右も左も全くわからない状況で、周りの人に言われるように行動をしていました。しかし入会して半年以上が経ち、ＪＣとは何かが少しずつわかり始めてきたような気がします。また最近はＪＣがいかに地域の活性化に重要な役割を果たしているか痛感しています。入会してから今まで一番印象に残っているＪＣ活動は全国大会です。会頭のＪＣに対する熱い想いや全国のＬＯＭの取り組みを聞いて改めてＪＣの凄さを実感しました。また卒業生の方の話を聞いて、いかにＪＣ活動が自分の人生を充実させるかということも実感しました。
私はまだ入会して間もないので今は周りの人にいろんなことを教えていただいていますが、これからＪＣというものをもっと理解して、諸先輩方のように重要な役割を担い地域活性化に尽力していけるように努めていきたいと思います。

古川　章一（ふるかわ　しょういち）

株式会社　末光硝子商会
営業　課長
●1975年8月14日生

５月に入会してから半年間、例会、委員会を始め、新入会員カリキュラム市民シンポジウムといった行事に参加しました。
全ての行事に対し、中身が濃くメンバーの団結力に圧倒されることも多くあり松山市や市民の為になっている事を身にしみて感じることが出来ました。
今後ともＪＣ活動を通じいろいろな経験をさせてもらい自分自身を磨いていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

新入会員募集中!!

メリットは無限大！

ＪＣに入会すると・・・

・忙しい中でも時間のつくり方が身につきます。
・研修を通して指導力、統率力が身につきます。また、様々なセミナーを受けることもできます。
・ＪＣの事業は、まちづくり（地域社会の開発）、ひとづくり（指導力開発）、経営者開発を中心に行われています。
・ＪＣの組織・事業は単年度制なので在籍中に様々な役職や事業を体験できます。

そしてなによりも・・・

志をもった素晴らしい仲間と、真の友情が得られます。

入会要項

■　**入会資格**

1．青年会議所の目的と意義に共鳴し、自発的な意思と情熱を持っていること
2．原則として、満20歳以上40歳未満の入会した年を含め３年以上活躍できる品格ある青年であること
3．松山市およびその周辺に住所または勤務先を有すること
4．健全な社会人としての教養と良識のある方で最低月１回開かれる例会と委員会に出席できること

■　**入会金および年会費**

入会金 ￥30,000　年会費 ￥132,000　委員会費　委員会により異なります。

JCI TM

お問合せ先：
社団法人 松山青年会議所　事務局
URL　http://www.m-jc.net
TEL　089-941-0194
FAX　089-943-0149
E-mail　jc@netcruise.co.jp
担当委員会：会員開発委員会
副委員長　石丸　一臣

12月例会ＰＲ

卒業式典＆懇親会

（社）松山青年会議所　2008年度最後の例会を12月16日（火）全日空ホテルで開催いたします。行事内容は、卒業式および懇親会となっています。今年度の卒業生は1968年生まれの23名の方々です。すこし寂しい気持ちにはなりますが、１年間の締めくくりの例会ですので、会員開発委員会メンバー一同頑張ります、卒業生を送る大事な行事になりますので、メンバーの皆様、多くの出席をいただきまして、盛大な会にできればと思っております。心に残る卒業式になるよう、メンバーのご協力よろしくお願いいたします。

当日は、18：00より集合写真を撮りますので、時間厳守でよろしくお願いします。

会員開発委員会委員長　黒光　毅

10月例会優勝！

鶴居　秀夫 先輩

今回のじゃがいもは、朝から正直「優勝」を狙っておりました。ゴルフ倶楽部メンバーの強豪勢がクラブチャンピオン前日ということで欠席しており、誰しもが優勝できるチャンスだったからです。いつもよりリラックスした状態で非常に良いプレーが出来たとおもいます。試合前日にも関わらず参戦してくれた吉末君、お疲れ様でした。また最年長参加の上、ベストグロス賞を獲得された中村先輩、おめでとう御座います。非常に素晴しいプレーを見せて頂きました。

今年のじゃがいもクラブも残り僅かとなりましたが、今後もシニア・現役の分け隔てなく楽しく有意義なクラブ活動が行える様、より一層の参加をお待ちしています。

次回予定

【取り切り戦】11／19（水）道後ゴルフ倶楽部

松山JC じゃがいもクラブ10月例会

愛媛ゴルフ倶楽部

順位	氏　名	OUT	IN	グロス	HDCP	ネット
優 勝	鶴居　秀夫	40	39	79	16	63
準優勝	武智　光成	40	39	79	12	67
3	中村　憲一	37	39	76	6	70
4	白石　裕英	47	40	87	15	72
5	吉末　　修	40	41	81	8	73
6	菅野　　崇	42	43	85	12	73
7	藤田　昌宏	53	38	91	17	74
8	河村　隆広	46	49	95	20	75
9	新矢　　一	47	40	87	11	76
10	藤井祐一郎	44	42	86	10	76
11	鵜久森充生	49	49	98	20	78
12	兵頭　　史	53	41	94	13	81
13	金子　昌幸	58	54	112	30	82
14	竹内　浩二	47	51	98	12	86
15	篠原　成昌	50	69	119	30	89

ドラコン　藤田　　河村
ニアピン　鶴居×２　　兵頭　　吉末
ベスグロ　中村
次回ＨＤ　鶴居（16⇒13）　武智（12⇒11）

卒業予定の皆様
おめでとうございます

太田　清孝
㈲Sonic JAPAN
代表取締役

小澤真奈美
㈱アイ・アイ・エー
社員

小野　修一
手芸センタードリーム
取締役

金子　昌幸
(株)パドス
常務取締役

木本　幸治
㈲コンパス
取締役

小森　誠史
誠実ビジネスファーム(合同)
営業部長

権名津隆治
㈱明朗社
常務取締役

佐保　元彦
佐保開発㈱
代表取締役

汐入　弘一
(有)okias
代表取締役

清水　栄治
㈱清水屋
代表取締役

上甲　　泰
ソニー生命保険㈱

白石　光永
プルデンシャル生命保険㈱
部長

白木　秀幸
㈲Tong Poo
代表取締役

武智　光成
明星印刷工業(株)
常務取締役

種植　圭司
㈱国際旅行
専務取締役

藤川　佳美
Les halles(レ・アール)

向井　忠彰
㈱向井酒店
専務取締役

向井　　康
㈲新栄食品
取締役専務

山内　　純
ジャングルバーライオン

山本　修嗣
五洋建設㈱
課長

結城　　旬
㈱結城屋/㈱ムラタ
常務取締役/取締役

吉田　元明
南宇和宅建㈱
常務取締役

和田　保志
㈲創通アド
代表取締役

社団法人
松山青年会議所
広報紙
わかつばき

発行日　2008年11月18日
発行所　社団法人松山青年会議所
編集長　篠原　成昌
委員長　寺田　　明　　副委員長　平田　裕二
印刷所　アマノ印刷有限会社

委　員
松本　　仁　　池田　貞伸　　菅野　　崇
松本　幸三　　高田　政信　　向井　忠彰
森　　真樹　　好﨑　秀人　　三宅　孝房

地球環境に優しい自転車を
サポートいたします。

富士タクシー

キュウニ ヨー ヨイフジ
☎924-4124

看板 ネオン LED

各種看板・ネオン・LED 企画・設計・施工
株式会社 香川ネオン
松山電業社
KAGAWA NEON MATSUYAMA DENGYOSHA CO.,LTD.
〒791-8001 松山市 平田町104－1
TEL:089-979-4343 FAX:089-979-3354
施工例はホームページを御覧下さい。http://www.kagawa-neon.com

葬送儀礼会館
こう りん かく
光 輪 閣
北山会館 内宮会館
内浜別館 北山斎場
（火葬PM3:00以降も可）
〒791－8077 松山市内浜町19－27
株式会社 寺田商店
☎(089)952-0220㈹

全120室／シングル
5,229円
（4,980円＋消費税）
朝食は、和洋食
バイキングを
無料サービス。
県庁前
Abis ホテル アビス松山
TEL. 089-941-9003
FAX. 089-941-9005
http://www.hotel-abis.com

KENSO
想いをカタチに…
株式会社 松山建装社
☎(089)941-5221(代) 松山市三番町7丁目1-7
URL http://www.kensosya.co.jp E-mail info@kensosya.co.jp

SHOEI CONSTRUCTION INC.
昇栄建設株式会社

防災のエキスパート
安心・安全をささえます
■総合防災設備設計施工 ■保守点検業務
上田消防建設株式会社
松山店
松山店／松山市安城寺町204番地3
☎(089)924-3822㈹・FAX(089)924-3865

TOSHO
NPO住宅地盤品質協会加盟
有限会社 東昇技建工業
住宅地盤事業部
〒791-1112 松山市南高井町1939-5
TEL089-970-6814
http://www18.ocn.ne.jp/~tousyou/

京染呉服 きもの処
嵯峨野屋
〒790-0054 松山市空港通り1丁目6-28
TEL089-968-6555
0120-14-8835
http://home.netcruise.jp/~hitosi/

地下1,000mより湧きだす天然温泉を
たっぷり湛えたお風呂いろいろ。
お好きな湯舟にゆったりと体を浸して、
心ほどける入浴タイムをどうぞ。
媛彦温泉
〒790-0913 愛媛県松山市畑寺3丁目4番5号
TEL 089-960-1441
URL http://www.himehiko.co.jp

e-package
やさしさを包む。
資源循環型社会へ…
愛媛パッケージ株式会社
〒790-0045 愛媛県松山市余戸中6丁目6番5号
TEL. 089-973-2021 FAX.089-971-6211
URL http://www.e-package.co.jp

BAR LE CLUB ル・クラブ
〒790-0002・松山市二番町
1丁目9-20・キーホールビルB1F
TEL.089-931-1995

BAR 夢の白 RIHAKU
〒790-0002・松山市二番町
1丁目9-20・キーホールビル2F
TEL.089-933-1808

KEYHOLE Co.,Ltd.

GODO
GODO STAFF SARVICE
愛媛の人材派遣はお任せ下さい。
合同スタッフサービスは
クオリティの高い人材を
ご提供いたします。
〔関連会社〕愛媛合同物流 株式会社
一般労働者派遣事業 許可番号(般)38-300052 有料職業紹介事業 許可番号38-ユ-300028
合同スタッフサービス株式会社
Tel.089-979-7711 Fax.089-979-7722
松山市勝岡町243番地 ▶▶▶ http://www.godo-staff.jp

リフォームのことなら
『建物ドクター』におまかせください

マルマストリク.（株）
松山本社 松山市問屋町３番６号 TEL 089-922-2123（専用）
今治本社 宇和島・大洲・西条・四国中央・多度津／営業所

真心の運転
株式会社 ハート交通
貸し切りバスのご用命は…
☎(089) 911-8810
〒791-8001 愛媛県松山市平田町311-1
『白い旅人』のお供承ります。
全国どこへでも、プランに合わせてご相談に応じます。グループでの旅行や巡礼・冠婚葬祭や各種イベントにご満足いただけます。

花と緑の温泉リゾート
ホテル奥道後
無料駐車場500台
〒791-0122 愛媛県松山市末町267
TEL 089-977-1111
FAX 089-977-5331
http://www.okudogo.co.jp

古き良き英国の伝統が薫る
オールドイングランド
道後 山の手ホテル
Old England Dogo Yamanote Hotel
〒790-0836 愛媛県松山市道後鷺谷町1-13
TEL(089)998-2111 FAX(089)998-2112

◇もしもの時は、まずお電話ください。
◇面倒なことは、すべて当社におまかせください。
◇ご遺族のみなさまになりかわってご奉仕いたします。
ご葬儀のご相談は…
TEL 089-993-0413
（有）てらだへ
てらだ葬儀社

愛ちゃん
麺類の総合メーカー
愛麺株式会社
松山市高岡町81-1（空港通り）
TEL089-972-8100
FAX089-972-8200

～地域の文化を大切にする～
清酒 桜うづまき
桜うづまき酒造株式会社
松山市八反地甲71 ☎089-992-1011